佐本規制発第106号
令和5年5月16日

各 警 察 署 長

有 効	令和5年3月31日まで
企画調査係	

交 通 部 長

「歩道走行型ロボットの公道実証実験に係る道路使用許可基準」の策定
について（通達）

これまで、歩道等の道路交通法（昭和35年法律第105号）により歩行者が通行すべき場所として規定されている場所を走行するものとして開発された自動配送ロボット等のロボットによる実証実験については、「自動運転の公道実証実験に係る道路使用許可基準」の改訂について（通達）」（令和2年10月8日付け佐本規制発第158号ほか）等を踏まえて実験計画案を作成し、道路使用許可を受けることにより実施されてきた。また、これらのロボットのうち240時間以上の走行実績を保有するなどのロボットについては、「特定自動配送ロボット等の公道実証実験に係る道路使用許可基準」の策定について（通達）」（令和3年7月20日付け佐本規制発第140号ほか。以下「旧通達」という。）により取り扱うこととしていた。

他方、道路交通法の一部を改正する法律（令和4年法律第32号）が施行され、公安委員会への届出により遠隔操作型小型車を遠隔操作により道路において通行させることが可能となった。

こうした諸情勢等を勘案し、上記届出の対象とならないロボットに係る実証実験についても、引き続き道路使用許可により安全かつ円滑に実施する事を可能とするため、別添のとおり「歩道走行型ロボットの公道実証実験に係る道路使用許可基準」を策定したので、その取扱いについて事務処理上遺憾のないようにされたい。また、本基準は、これによらずに道路使用の許可を行うことを禁止するものではないが、本基準によらずに許可を行おうとする場合は、事前に交通規制課企画調査係宛て報告されたい。

なお、旧通達は廃止する。

（別添省略）